

2010年4月29日 第81回福島県中央メーデー





県中央メーデー
「雇用や待遇改善を」

福島で3888人デモ行進

た。景気低迷やデフレが深刻化する中、参画者は「社会の底割れ歯止めをかける」を宣言に、雇用の確保と待遇の改善を訴えた。主催者発表によるこの日、61団体から年より436人多い3888人が参加。山道幸実行委員長は、「現在の社会は底割れ」とした上で、「この以上、賃金低下が進み、悪循環に陥る。」とし、デフレがデフレをもたらす自らの目線に立ち、社川運動公園で開かれが29日、福島市の「荒川運動公園」で開かれ（同実行委員会主催）第81回県中央メーデー



▲ 2010.4.30 每日新聞

景気回復、遠い実感

県中央メーデーに3900人

參院選控元政治色

福岡市安が解消されない中、メーリーの集会が29日、県内各地で開催された。通り、福岡県が主催した「長崎市や福岡市の苦い事」が参加者約3000人（主催者発表）が参加。長崎市や福岡市が雇用対策の実績を訴え、参選選など選舉での協力を呼び掛けたが、参加者からは「景気の感覚にギャップがある」「まるで選舉演説」と冷ややかな声も聞かれた。

は、南相馬市原町区の労働者
社会館前を会場に25単組の演説
が主催された。原町地区の演説は、
650人（主催者発表）が参加して聞かれた。「社会の喧嘩」が割れに歎止めをかけよう

A black and white photograph capturing a massive outdoor gathering. In the center, a woman holds a prominent banner that reads "STOP THE WAR ON TERRORISM". The crowd, composed of men and women of diverse ages, is seen waving numerous flags, including the American flag. The scene conveys a sense of a significant public demonstration or protest.

61団体、約3900人の組合員が「ガンバロー」と拳を空き上げた=福島市の荒川運動公園

この後、「雇用を確保・創出する政策制度を実現し、働く者の生活を守る」などとするメーデー宣言がなされ、参加者は「賃金ガット方式」などを書かれた手作のフリカードを持ってJR東日本へ向かってデモ行進した。

が、選挙のたびに引っかき回され続けるのかと思うと不安です」と語った。

どのプラカードを掲げ、市中
心部をデモ行進した。

▲ 2010.4.30 朝日新聞